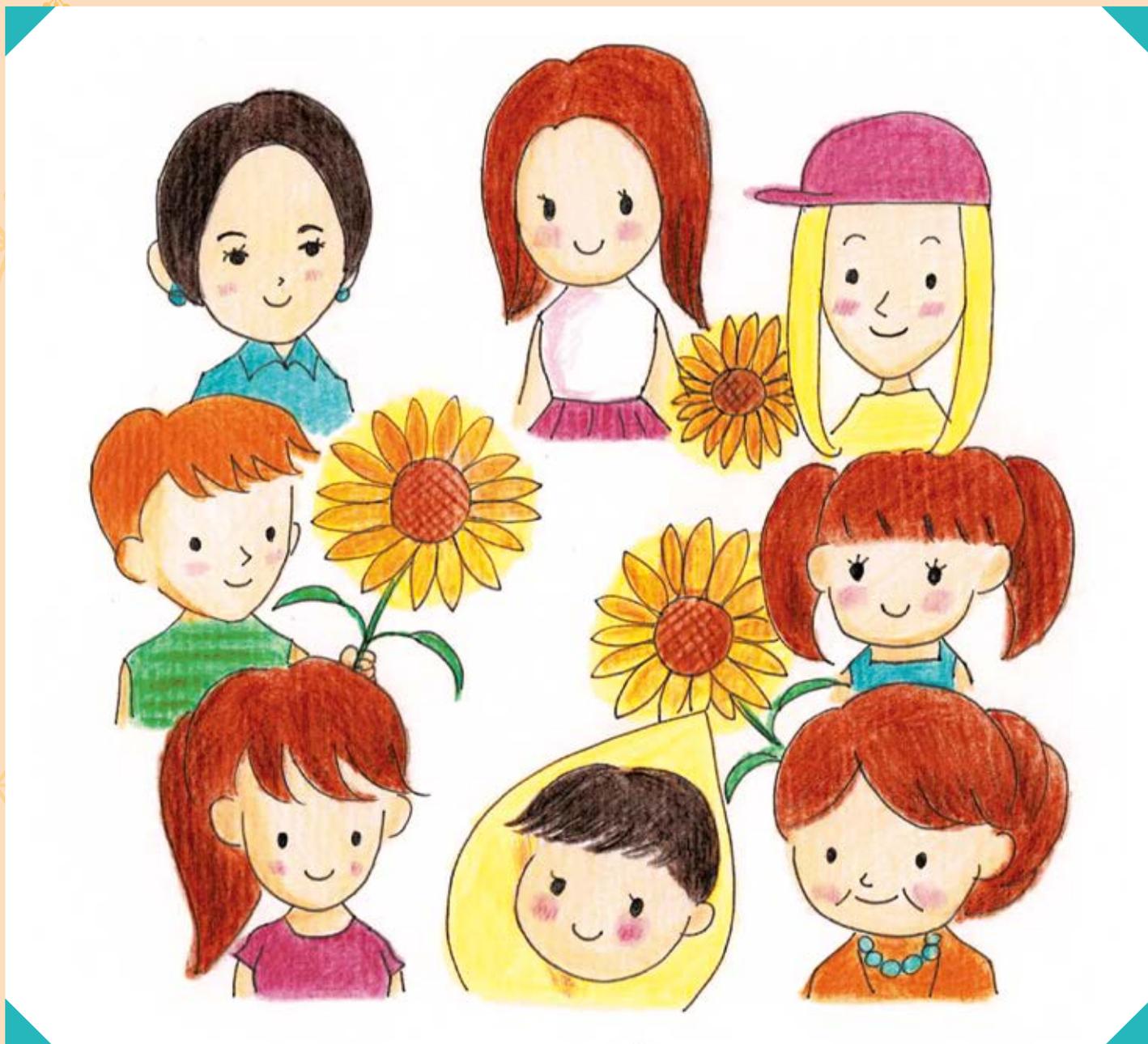


Take
Free

😊自分らしい生き方、応援します!

ソーレ・スコープ

第89号
2019.JULY



イラスト：ヒビノケイコさん

寄稿 フェミニズムを通じて考える
～「いかに生きるか」～

特集 マイノリティ(少数派)を認めるということ

新コーナー 「よそんく(国)」どうなっちゃう?

詳しくは
HP <http://www.sole-kochi.or.jp>



HP



Face Book

フェミニズムを通じて考える ～「いかに生きるか」～

小島 優子 氏 (高知大学 人文社会科学部門 准教授)

「女だから」という呪縛からの解放

私が哲学科の女子大学生だった頃、毎日のように人生について友達と語り合いました。将来を考えた時に女性が働きやすい仕事は何か、どのように生きるかを考える時に、自分が女性であることの意味や、女性のおかれている状況を考えることが必要だと考えました。その頃に「女性学」を学び、女性が自己確立をするには一度フェミニズムを通過する必要があると思いました。

私たちは生活する中で様々な「女性らしさ」や「男性らしさ」に縛られています。「女だから」という言葉で私たちを縛っている呪縛を解きほぐすことが、フェミニズムの役割です。女性が生きていく中で「女の子なのだからそんなに勉強しなくてもよい」と言われたり、女性であるために軽んじられたり性被害にあったり、さまざまな抵抗や摩擦、生きづらさにぶつかります。そのようなときに、翼が折られてしまうか、あるいは反発して何重にも鎧を着るようになるかが女性たちの選択でした。

フェミニズムは男女の不平等を是正する思想・運動であり、歴史の中では参政権などの権利の要求（第一波フェミニズム）、性別役割分業などの社会的な慣習の再考（第二波フェミニズム）、セクシュアリティの理解へと進展してきました。「女であること」による生きづらさから解放されるためには、雇用や選挙権などの権利が与えられることが必要ですが、それだけでなく、女性が家事・育児・介護などのケアの多くを担っている社会的慣習を考慮する必要があります。さらに、多様なジェンダーとセクシュアリティを受け入れることで生きづらさからの解放を目指すことができます。

ですが、女性だからといって自分のやりたいことを諦めてしまう場合はもちろん、反対に男性の2倍から3倍も努力しなければ認められない、と鎧を着込んで闘う場合にも、まだ「女性はこうあらなければならない」という思い込みを自分で作ってそれによって自分を縛っているわけです。折られた翼が再び生えてくるように癒し、

二重、三重に着込んだ鎧を脱いでも安全な場所を設けるのがフェミニズムです。自分のやりたいことにチャレンジする時に、「女だから」ということを足かせにしないで生きていくために手助けになるものです。

パターナリズムを卒業して

女性らしく生きた方が無難な生き方であることを分かっているために、多くの親や教師は女性らしく生きることを女性に勧めます。父親的な立場から女性にはあまり勉強しなくてよいと言ったり、社会では男性よりも楽な仕事をさせたり、男性ほど真剣に指導しなかったりします。このように女性のためを思って(!)女性に干渉して庇護下におく立場を「パターナリズム(父権主義)」と言います。女の子も幼い時分から可愛らしく、大人しく、女の子らしく振舞っていた方が大人に可愛がられて世の中を上手く渡ることができることを分かっています。ですが、自己確立を考えて自分のやりたいことと「女性らしさ」が折り合わなくなったときに、生きづらさにぶつかります。「いかに生きるか」を考える時に、女性がおかれている状況や、女性が生きるにはどのような活路があるのかを学んで知っておくことは生き抜くための術(すべ)になります。

もちろん、女性だけでなく男性も「男だから」という鎧で自分を縛っています。「〇〇しなければならない」という私たちの周りにあるルールを規範といいます。男性は、「家族を養わなければならない」、「強くなければならぬ」という男らしさに縛られています。この男らしさから解放されるためには女性を自立させて自由になることが必要なのです。



今回は「フェミニズム」をテーマに、高知大学の小島優子准教授に寄稿していただいたものをご紹介します。



女性であることに責任をもって生きること

人は女性に生まれることも男性に生まれることも選択することはできません。ですが、自分の生まれてきた状況を選択しなければならないということを、ポーヴォワールは『第二の性』に記しています。生育過程の中で女性は女性らしさを身につけるように教育されて、女性らしさを自分に内面化してしまいます。他人にかばってもらったり、愛されたり、助けてもらうことが当然だと思ってしまうのですが、「女性らしさ」とは生育環境の中で作られたものにすぎないのです。女性が自分の生き方を自分で選択して自分の人生に責任を持って生きていくという、実存主義の立場が述べられています。女性に生まれてしまったために損な役割を担わされたりすることもありますが、それでも、女性で生まれたという自分の人生に責任を持って生き抜くことが大切です。

女性は自分から何かをやりたいと手を挙げなかったり、リーダーや管理職になりたがらない傾向があります。以前に私が雑誌の企画を受け持った時も、男性は手を挙げてくれるのですが、女性は手を挙げないので声をかけたところ、「やりたいと思っていた」と言われました。その時に女性に声をかけることが大事だと思いました。というのは、女性が「女性らしさ」に従おうとするならば、従順で友好的であることが求められるからです。シェリル・サンドバーグが『リーン・イン』の中で、「内なる障壁」から一歩踏み出せと女性に言うのはこのためです。仕事で成功を収めた女性は「すごいやり手」で「チームプレーができないタイプ」で「付き合いにくい」などと思われるサンドバーグは記しています。女性は主体的に生きて自己実現していく中で、女性らしさと主体性とのジレンマにぶつかります。女性であることの生きづらさは、社会構造の中で作られた「女性は女性らしくあるべき」という規範を女性が生育過程の中で身につけてしまっており、社会構造から抜け出すこともできないために生じるわけです。

それでは、なぜ「女らしさ」に私たちは縛られるので

しょうか？一つには、ポーヴォワールが言うように幼い時から女の子は「女の子らしく」育てられて扱われるからです。二つには、女性が出産と授乳をすることから、育児や家事をするのは女性の仕事だとされる固定観念（ステレオタイプ）があります。この立場で有名なのはフランスの思想家のルソーです。ですが、身体的な相違によって性別役割分業を正当化する立場は、第二波フェミニズムによって批判されました。というのは、家庭で女性が家事を担い男性が働き手となっていることから、社会の中でも女性は周縁的な仕事や低賃金業務に就くことや副次的な地位に就くものだとみなされてしまうからです。

私たちが生活している社会には様々な決まりごとやルールがあり、既存のルールがおかしいと思う場合にそれを変えていくためには、精確なデータと確実な理論が武器になります。「女だから」と尻込みしないためには実績を積み重ねることも手助けとなります。外部から俯瞰する視点（これをメタ視点と言います）を持って、自分が自分の教師や上司だったらどうするかを考えて自分を育成するのもよいと思います（必ずしも理解のある親や教師、上司に恵まれるとは限りませんので）。

性別にかかわらず、自分自身であろうとすることは、常に自分で自分の本当にやりたいことを見つけて求めていくことなので生きづらさを伴います。私たちが自分らしく生きようと思う時には常に周囲の「こうあるべき」という規範にぶつかり、それによって自身の本来のあり方を見出していきます。自分はどうすることはできないという壁にぶつかった時に、どのように生きるべきか、自分がどのような人間であるかを私たちは知ります。「女だから」という壁にぶつかった時に、自分であるために羽を休められる場所がフェミニズムなのだと思います。



マイノリティ(少数派)を 認めるということ

「マイノリティ」って？

「マイノリティ」とは「少数派」を意味する言葉ですが、単に少数派というだけでなく社会の中で弱い立場に置かれている人々を示す言葉として使用されることもあります。一方、「多数派」については「マジョリティ」と表現します。

「マイノリティ」と言えば、「性的マイノリティ」を思い浮かべる方も多いかもしれませんが、ここではもっと様々な違いを抱えている人たちも含め、社会で少数派に属している人々について考えてみましょう。



マイノリティの感じる生きづらさとは



私たちが何気なく使っている「普通」という言葉は、辞書には「ありふれている。通常。一般。」などと表記されています。

自分が多数派に属している（またはそう思っている）ときには、改めて感じることはないものが「普通」という基準です。しかし、マイノリティだと自覚を持つ人々にとっては、その「普通」という目に見えない基準が、社会で感じる居心地の悪さや不安、生きづらさのもとになっているように思います。

自分が持っているものさし（基準）が、社会の中の「普通」と異なっていると思う人たちは、「自分は他人と違う。少数派なんだ」と考えて、つらさを感じることがあります。また、それまで自分が持つ「普通」という基準の中で生きてきた人たちが、他者が持つ「普通」というものさしで測られ、多数派との違いを指摘されることで、戸惑いや不安を感じ始めたりすることがあります。

それぞれの人が持つものさしは、社会や周りの環境を受け入れ生活していく中で自分が作ってきたものです。つまり、環境や居住地により異なり、また、時代によっても変わっていくものであり、決して普遍的なものではありません。

「普通であることは面白くない」などとし、人と違う生き方や行動をあえて選んでいる人たちからすれば、マイノリティであることはマイナスに感じるものではないでしょう。しかし、自分で選択したわけではないけれど

その状況にある人たちにとっては、「自分はマイノリティである」と思うことが、生きづらさを感じる原因となるのではないのでしょうか。



人それぞれ、という言葉について考えてみる

私たちは、「多数派の意見＝正しい」という考えにとられ、無意識のうちに他者にもそれを押し付けたりしてはいないでしょうか。

自分がマイノリティだと自認している人は、「少数派」という思いがあることから、自分の本当の意見や気持ちを表現することができなかつたり、大きな声（多数派の意見）に飲み込まれ、つらい思いを抱えています。これは、マジョリティにそんな悩みは全くない、と言っているわけではありません。けれど少数派の人々は、多数決が優勢の社会の中で、否定や排除されることを恐れて周囲に言えない、という悩みを常にかかえて生きています。一見、多数派の意見に従い、周囲に合わせているように見えていても、それはその人らしい生き方をしているとは言えません。

「マジョリティ（多数派）」の中にも全く同じ人はいないように、人はそれぞれに個性を持っています。その個性を認めていくことが、相手を思いやるということだけでなく、自分自身も生きやすい社会につながっていくのではないのでしょうか。

もしかしたら「よかれと思って」、自分の考える「普通＝正しい」とは異なる他の人の言動を、自分が正しいと考える方向にコントロールしようとしたり、もしくは否定的な態度をとっている人がいるかもしれません。そのような考え方を変えるためには、まず、自分が思っていることや知っていることがすべてではないということに気付くことが大切です。それでも、自分の「普通ものさし」を変えることはなかなか困難なことでしょう。

今の時代は様々な媒体を利用することで、多くの情報を手に入れることができます。しかし選ぶ手段によって、自分が欲しい情報だけしか手に入らない場合もあります。私たちは、たくさんの人と話したり図書館で本を読むなどし、多方面からの情報を受けてそれを活用することにより、自分自身の頭で考え判断できる力を身に付け、多数派の意見に流されない自分の考えを持つように心掛けることが大切です。

声を上げることの大切さ



私たちは少し前まで、マイノリティの人たちの声を聞く機会がほとんどありませんでした。

しかし、昨今テレビやインターネットなどの媒体を使って、マイノリティの人たちが声を上げる機会は増えてきています。特に、最近はインターネットを活用することで、これまで出会えなかった少数派の人たち同志が思いを共有しあえる場が広がり、繋がりがやすくなってきてことで、声を上げやすくなってきているようです。そうして、これまで埋もれてきていたマイノリティの人たちの意見が多く取り上げられはじめています。

このように、声を上げてきたことで社会環境は少しずつ変わってきています。自分が「マイノリティ」な存在だと感じたことがある方も、もっと声を上げ気付けてもらうことが必要ではないでしょうか。マイノリティとして生きている人は、他の人にならぬ視点で考えることがで

きます。もっとそれぞれのスタイルを活かして生きていきませんか？

そして、マジョリティの人たちも、いろいろな声の存在に気付くために、様々な方向から情報を得ることが重要です。偏った情報では、多様性の存在に気付きにくいものです。

誰もが過ごしやすいためには



私たちは、自分が経験していないことを理解することが不得意です。しかし、経験できることが限られていても、読書や映画など様々な媒体から情報を得ることにより、完全には難しくても経験不足を補うことはできます。そして、これも自分が持つものさしの幅を変えていく一つの方法になります。

大きい声に合わせることに慣れてしまっている私たちは、なかなかその考え方を変えることが難しく、まだまだマイノリティの人たちが声を上げにくい社会となっています。そのような状態がおかしいことに気づき、少しずつでもその現状を変えようと行動を起こすことで、誰もが過ごしやすい社会に少しずつでも近づいていくのではないのでしょうか。

自分らしく生きていける社会にするために、今、一人一人が「自分ものさし」の点検・見直しを始めることが求められています。



貸館のご案内

ソールには、「どなたでも」「1時間単位」で借りられる貸室があります。

●多彩な貸室

少人数で利用できる研修室をはじめ、300人まで収容できる大会議室の他、茶道具を備えた和室や調理実習室など、目的に合わせてお選びいただけます。

●低料金

研修室(定員30名)なら、平日1時間420円。土日利用でも510円。しかも夜間も同料金(営利団体や営利を目的とする利用の場合は、2倍になります)。

また、冷暖房やプロジェクターなどの備品は、全て無料。

●便利

目の前を路線バス・路面電車が通り、JR旭駅からもすぐ近くの便利な場所にあります。



大会議室



和室



レクリエーション室

簡単な利用登録をすれば、予約は電話でOK。
ぜひお気軽にお問い合わせください。



ソーレの図書室は、女性に関する本だけではなく、絵本やジュニア書など約12,500冊、ビデオ・DVDを約980本所蔵しています。どの本もあなたの人生を豊かにするものばかりです。

ご自身を証明するものをお持ちいただければ、貸出カードを作ってすぐにご利用できます。ソーレの図書室の本やビデオ・DVDを是非ご利用ください。(ビデオ・DVDは図書室でもご覧いただけます)

利用時間 火曜～金曜 9:00～20:00
土・日・月 9:00～17:00

休館日 第2水曜・祝日・年末年始

貸出期間 (図書) 5冊まで2週間
(DVD) 2本まで1週間 ※高知市以外在住の方は2週間



お薦め本 Pick Up !

ヒトは「いじめ」をやめられない ……………

中野 信子 著／小学館／2017年10月



人間の脳の仕組みや心理学的な観点から「いじめ」が行われる理由だけではなく、子供たちをいじめから守るためのアドバイスや、自分自身を守る方法が記されています。また、この本を理解することによって、「いじめ」の加害者にならないように自分をコントロールすることに活用できると思います。

彼女は頭が悪いから ……………

姫野カオルコ 著／文藝春秋／2018年7月



実話をヒントに創作されたフィクション。自分本位に考え、他人の気持ちを想像することができない加害者たちからの被害だけではなく、事件後にインターネットという媒体を通じて多数の匿名者から行われた、被害女性を二重に苦しめるセカンドレイプの恐ろしさが印象的です。

ソールには「図書団体貸出」があります！

6月の男女共同参画期間に合わせた展示の様子をご紹介します。

南国市立
図書館



四万十町立
図書館
大正分館



高知大学
学術情報基盤
図書館



香我美
図書館

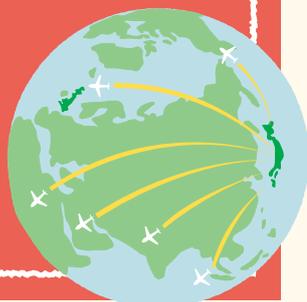


ソールでは、より多くの方にソールの図書に触れていただき、男女共同参画についての理解を深めていただくため、高知県内の市町村や学校に図書の団体貸出を行っています。本のジャンルも、女性問題に関するものだけではなく、男性・シニア世代・防災・家族・性に関する問題など幅広いジャンルの中からご希望のジャンルをお選びいただけます。貸出冊数・期間など、詳しくはソールまでお問い合わせください。

\\ ちゃおっ \\
いろいろ 聞いCHAO!
「よそんく(国)」
どうなっちゃう?



第1回
イギリス



世界のいろいろな考え方や暮らし方の違いについて、海外出身で現在県内在住の方からお話を伺います。

今回はイギリス出身の Naomi Long (ナオミ ロング) さんです。日本に興味を持ったのは、子供のころホームステイする日本人を身近で見えてきたからとか。



「私はイギリス代表にはなれませんが、大丈夫でしょうか?」と真面目に前置きされた後、「男女共同参画や女性活躍の話題はとても興味があります。」と笑顔で語ってくれました。

Q. まず、イギリスの基本情報をお聞きます。

イギリスは、イングランド・ウェールズ・北アイルランド・スコットランドの4つのcountry (国) で構成され、公用語は英語ですが、ウェールズではウェールズ語も使用されています。



義務教育はイングランドが18歳、その他3地域は16歳までです。ちなみに、公立学校には制服がありますが、女の子はスカートとズボン、どちらでも選ぶことができます。

その後、ほとんどの人は希望する専門学校や大学に進みます。また、一部の学部には男女の人数差はありますが、最近ではSTEM教育(※注)に関わる女性数を増やすことが課題になってきています。

Q. 高知県民にどのような印象を持っていますか?

高知県民は「県民」のアイデンティティが強く、高知の文化や歴史について深い知識を持ち、昔の習慣や産業などを大事にしている人が多いと感じます。

Q. イギリスでのパートナーとの暮らし方について教えてください。

二人とも働いている場合は、得意分野やそれぞれのスケジュールに合わせ話し合って家事分担を決めることが多いです。イギリスでは婚姻率が年々減少し、同棲するカップルが増加していますが、結婚制度に価値があると感じている人もまだまだたくさんいます。

2014年には、同性婚が法律で認められました。

Q. 「女らしく」「男らしく」という言葉について、どのように思いますか?

男女の性差に関係なく、社会の中で目標を持ちそれに向かって進んでいく生き方がいいと思います。また、私はジェンダーは固定してないものと考えているため、ジェンダーと関係していない言葉、例えば「その服が女らしい」の代わりに「その服がよく似合う」が使われたらいいと思います。

Q. イギリスの働き方について教えてください。

イギリスの女性就職率は71.4%ですが、そのうちパートタイムで働く女性は41%です。特に小さい子供がいる場合は、パートタイムで働いた方が時間的に楽です。

また、同じ分野の仕事で経験を積み、良い条件で働きたい場合にはそのキャリアを持って転職し、給与アップしていく働き方が普通です。日本のように就職活動を行う時期は特に決まっていないので、いつでも行うことができます。また、会社内の人事異動で職場や部署が変わることは少ないです。

Q. 日本の職場について感想を教えてください。

今の仕事で一番良いと感じるのは一緒に働いている人たちとの関係です。高知の文化をさらに盛り上げ発展させるために頑張っている人たちに囲まれて仕事しています。

驚いたのはファックスの使い方です。現在イギリスでは資料はほとんどEメールで送っているため、実は初ファックスが高知でした! また、人事異動はイギリスにはあまりありません。同じ会社で幅広く体験できることが人事異動のいいところですが、引き継ぎが大変だと感じました。

Q. 高知の女性は飲みに行くことが多いですが、イギリス女性はどうか?

イギリス人は性別関係なく飲みに行くことは大好きです! 「飲む」文化は共通しています(笑)。女性同士の飲み会もありますが、男女混合で飲みに行くことの方が多いです。

Q. 今興味があることや、これからやりたいことについて教えてください。

もともと興味を持っていた女性活動や、マイノリティーグループの支援をボランティアとして行いたいと思っています。学校教育は男女平等が当たり前のものとして進んでいますが、社会の中において、男女平等だけではなく様々な少数派の平等のために改善できるところがまだまだあると思います。

また、環境を保護する活動にも非常に興味があるため、今後この国に住んでもこのようなボランティア活動に関わっていきたいです。

Q. 最後にひと言をお願いします。

これからの時代は、どこの国でも、ジェンダーや社会のステレオタイプで縛らずに、多様性を認める社会に進んでいけばいいと思います。

(※注) 科学 (Science) ・ 技術 (Technology) ・ 工学 (Engineering) ・ 数学 (Mathematics) に力を入れる教育方針。「自分で学び、自分で理解していく能力を高める」という目的がある。

講座のご案内

無料託児付

- 6カ月～就学前対象
- 講座申込時の予約必要

無料 受講料無料

夏休み親子教室 楽しく学ぼう！ おいしいポリ袋フッキングと防災ミニ知識

災害時だけでなく普段の生活でも役立つポリ袋フッキングの実習を行うと共に、防災に関する知識を親子で楽しく学びましょう！

日時 8月24日(土)10:00～13:00
講師 NPO法人日本防災士会高知
参加費 1組1,000円 ※材料費込
対象・定員 小学生以下のお子さんと保護者10組(1組3名まで・先着順)
申込 7月5日(金)9時～電話にて



就労支援パソコン講座 (ワード検定対策講座)

日時 7月27日(土)、8月3日(土)、18日(日)、24日(土)、31日(土)
10:00～16:00 (全5回)
講師 横山桂子(NPO法人とさはちきんねっと)
参加費 8,000円(テキスト代3,000円込・初回にお支払いください)
対象 就職活動中、または仕事をしている20～50代の女性
ワードの基本操作ができる方
定員 15名(先着順)
申込 電話にて受付中



※Office2010を使用します。
※検定は講座最終日以外にも、別途1日検定日を設けます。
※過去に「3日で学ぶ！ワード基礎講座」を受講された方は、本講座受講に必要なワードの基本操作が身についています。

女性リーダー応援塾(全3回) 無料 「未来から『なりたい自分』を引き寄せる」

私らしく働き続けるため、『未来のワタシ』をイメージしながら、意識や行動を変えることに挑戦する講座です。いろいろな人から刺激を受け、楽しみながら力をつけませんか？



日時 第1回9月29日(日)「企画力」を磨こう！
第2回10月20日(日)「プロジェクトマネジメント力」を磨こう！
第3回12月1日(日)「プレゼンテーション力」を磨こう！
時間は各回13:00～16:00
講師 川村晶子(高知大学次世代地域創造センター 客員准教授)
対象・定員 職業を持ちスキルアップを希望する女性・30名(先着順)
※できるだけ全3回の受講をお願いします。
申込 受付中 電話またはHP申込フォームにて
※詳しくは、チラシまたはHPをご覧ください。

ソーレ開館20周年記念 男女共同参画講座

「幸せ」のグローバルスタンダード ～世界と日本の今とこれから～

「WORK=LIFE」を提唱している講師から、「WORK」の定義やありようが世界でどう変わってきたかをふまえて、人生100年時代を「幸せ」に生きるために私たちの意識、社会をどう変えていかなければならないのかを学びます。



日時 9月17日(火)18:30～20:30
講師 大崎麻子(公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン理事)
定員 30名
申込 8月10日(土)～電話またはHP申込フォームにて

●詳しくは、ソーレホームページをご覧ください。

●お申し込み・お問い合わせはお電話でソーレまで

TEL(088)873-9100

✉ ソーレ・メールマガジン「FROMソーレ」

購読無料！

講座情報を定期的に
お届けします。



登録はこちらから！
規約に同意して登録を選択後、
空メールを送ってください。

施設利用のご案内



- 貸室利用時間
9:00～21:00(土・日・月曜日9:00～17:00)
- 休館日
第2水曜日・祝日・(年末年始)12月29日～1月3日
- 図書・情報資料室
9:00～20:00(土・日・月曜日9:00～17:00)
※ただし図書利用カード発行及び再発行の受付は、17:00まで
- 相談室
9:00～12:00、13:00～17:00
(専用電話/088-873-9555)
※第2水曜日、祝日、12月29日～1月3日は休室です

あなたの声をお聞かせください

当紙面への感想や、主催事業及び施設利用等に対するご意見などお寄せください。お待ちしております。

- 電話 088-873-9100
- Fax 088-873-9292
- Eメール sole@sole-kochi.or.jp
- HP <http://www.sole-kochi.or.jp>
- Facebook こうち男女共同参画センター「ソーレ」



- 所在地
〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地
- アクセス
電車…「旭町3丁目」下車100m
バス…「旭町3丁目」下車50～200m
JR…「旭駅」下車400m

駐車スペースが少ないため公共交通機関をご利用のうえ、ご来館ください。

発行 公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団 発行日 令和元年7月10日